

DACS-9600K デジタル入出力デモサンプルプログラム解説

DACS-9600K デジタル入出力デモサンプルプログラムは、マウス操作にて、任意のデジタル出力bitをON/OFFすることができます。またデジタル入力をリアルタイムで自動表示します。ユーザサイドのソフトウェアを準備されていない状態での動作試験、あるいは接続したシステムの動作確認に使用していただくためのサンプルプログラムです。ソースプログラムも添付していますので、アプリケーション作成にご利用ください。

ダウンロードにてご提供している 各ユニットのフォルダ内 d96Kdemo
 デモプログラム ソースプログラム (C++) D96KDEMO.cpp
 実行プログラム D96KDEMO.exe
 子機アドレスファイル d96Kadnum_sample.txt

(注1) 増設した子機がある場合は、子機アドレスファイルを編集する必要があります。

詳しくは、DACS-9600Kシリーズ増設用子機 取扱説明書をご覧ください。

また、各子機の基板上DIPスイッチを、それぞれ異なるID番号に設定してください。

(注2) このプログラムの動作には、デバイスドライバ (複合版またはダイレクト版) のインストールが必要です。

デジタル出力の操作
 デジタル入力の表示

bit位置をマウス左クリックにて ON/OFF 切換え
 リアルタイムに自動表示。

送信データおよび受信データ表示の末尾1文字は、データ識別番号です。0~Fの16進数にて、データ送信ごとに変更しています。受信データのデータ識別番号は、送信データの番号をそのまま返しています。下図は子機を4台接続した例です。

■ DACS-9600K デジタル入出力表示ボード V2.2

メニュー
 出力bitをマウス左クリックにてON/OFF切換え。明るい色: ON 暗い色: OFF
 入力bitはリアルタイム表示です。
 !キーを押すと送受信間隔が 0.1<-->1秒 と変更になります。

送信 0 >> W0810f000
 送信 1 >> W01a0809F
 送信 2 >> W0a05692F
 送信 3 >> W05a6914F

受信 0 >> R300F0810
 受信 1 >> R1901058F
 受信 2 >> R8496A05F
 受信 3 >> R528965AF

ID 3 出力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
 正常 入力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

ID 1 出力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
 正常 入力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

ID 8 出力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
 正常 入力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

ID 5 出力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
 正常 入力 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

数字は bit番号

デジタル出力
 マウス
 左クリック
 にてON/OFF
 切換え

デジタル入力
 ON/OFFを
 自動表示

ID番号は
 基板上の
 DIP
 スイッチ
 設定を表示

正常動作中
 「正常」
 通信中断時
 「中断」